



荻久保和明（作曲・指揮）

1953年埼玉県生まれ。埼玉県立川越高等学校を経て、東京藝術大学、同大学院作曲科修了。作曲を島岡譲、矢代秋雄、野田暉行、間宮芳生の各氏に師事。

1976年『2つのオーケストラのためのレインダンス』で、第45回毎日・NHK音楽コンクール作曲部門・第一位。1982年NHK交響楽団の委嘱による『交響曲』初演。文化庁芸術祭参加作品としてNHKの委嘱による『季節へのまなざし』によって、合唱界での知名度が高まり、数多くの合唱曲を作曲。また、こどものためのピアノ曲集や連弾曲集、ピアノ作品、管弦楽曲の作曲から編曲まで豊富に手掛け、出版作品も多い。近年では合唱曲のオーケストラ版編曲、演奏も積極的に行っている。全国の校歌の作詞・作曲作品も多数有り。「題名のない音楽会」等、メディア出演も多い。

指揮者としても高い評価を得ており、長年にわたって多くの合唱団の客演指揮者を務めている。東邦音楽大学・東邦音楽短期大学および東邦音楽大学大学院特任教授。



女声合唱団 クール ホワイエ

1975年成蹊学園PTAコーラスを母体として発足

1986年より、作曲家荻久保和明先生指導の下活動

定期演奏会においては、荻久保作品、著名作曲家作品、また世界の名曲を荻久保先生の編曲で歌う。これまで荻久保作品は「季節のまなざし」「フランチェスコ」「すばらしいあした」等「レクイエム」は「フォーレ」「モーツァルト」「ラッター」「デュリフレ」作品をエレクトーン第一人者の渡辺睦樹氏と共にオーケストラサウンドで演奏している。

クールホワイエは仏語で、『暖炉の前の団居（まどい）』の意味
人と音楽とハーモニーを大切に、高い音楽性を求め、喜びを分かちあいたいと思っています。